

絶滅危惧種観察会

トノサマガエル

トノサマガエルは有名なカエルですが、個体数が減少し、愛媛県レッドリストでは絶滅危惧II類に選定されています。松山市ではトノサマガエルの姿を見ることはかなり難しいですが、久万高原町では各地の田んぼで出会うことができます。その理由は水路の構造やイネの栽培方法などの違いが関係しているのです。

今回は農業生態学を専門にする村上 裕さんをお招きし、田んぼの構造を解説してもらいながらトノサマガエルを探します。田んぼを通して、身近な絶滅危惧種について知ってみませんか？



【講師：村上 裕（むらかみひろし）さん】

愛媛県生物多様性センター主任研究員。農学博士。主に農林振興と生物の保全の両立をテーマに研究活動を行う。久万高原町にはトノサマガエルの調査で頻繁に訪れている。



日時

令和7年9月5日(金)
19:00～21:00

※小雨決行、大雨中止

参加費 500円 定員 30人

対象 小学3年生以上
※最低2kmほど歩きます

場所

松山市農協 久万経済センター

(愛媛県久万高原町菅生2-1406-1)

集合場所→



持参物 ヘッドライトや懐中電灯

服装 長そで長ズボン、
長靴か、はきなれた靴

参加には申し込みが必要です。

フォームから申込可↓

※お問い合わせ・お申込みは面河山岳博物館（電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136）
※中止の場合は、当日の13時までに判断の上、電話等で連絡します



参加申込票

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	
電話番号	